

## ボツワナ共和国月報(2019年7月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 新党 BPF の結成記念集会の開催
- ボコ UDC 党首は選挙法に違反していないとの判決が下る
- Kgori Capital社, 国家石油基金を巡る疑惑に関する訴訟に勝訴

#### 【外政】

- マシシ大統領のルワンダ訪問
- 竹田大使のTICAD7に係るインタビュー
- マシシ大統領のケニア訪問

#### 【経済】

- 上半期のデビアス社のダイヤモンド原石売上額減少
- チョッピーズ元CEO, 会社及びモハエ元大統領を提訴
- カタール航空, ハボロネへのフライトを開始へ
- ボツワナ・コンシューマーフェアが8月26日から9月1日まで開催
- 世界史上2番目に大きい1, 758カラットのダイヤの名称決定

※当地メディア記事等を任意に引用した内容です。

#### 【内政】

##### ○ 国家改革戦略チームの発表

2日, マシシ大統領は長期国家開発計画であるビジョン2036の達成のための国家改革戦略(National Transformation Strategy)を推進する国家改革戦略チームを発表し, 同チームの議長としてセバボレ第一ボツワナ国家銀行チーフ・エコノミストを指名した。(3日: デイリー・ニュース紙)

##### ○ 与党 BDP と野党 AP の協定の可能性

マシシ大統領と与党BDPは次の選挙に向けた戦略として野党APとの協定を検討しているとみられている。マシシ大統領はBDPとAPの協力を促進しようとしており, 同大統領は選挙後にハオラテAP党首を閣僚の一人として指名することさえ検討していると言われている。(3日: ボツワナ・ガゼット紙)

##### ○ 同性愛禁止の違憲判決に対する上告

客月11日, 当国高裁は, 刑法の中の最大で7年の禁固刑に処される同性愛を禁ずる条項が, プライバシー, 自由及び尊厳を妨害するものとして, 違憲の判決を下した。同判決は国際社会及び活動家から, ボツワナが数少ない同性愛関係を合法とするアフリカの国々に加わることになることと歓迎された。一方この判決を受け, 5日, キーツァベ司法長官はプレスステートメントを發出し, 高

裁の判決は間違っており、控訴裁判所(当館注: 当国の最高裁判所に当たる。)に上告することを決定したと述べた。(5日:メヒ紙)

#### ○ 投資・通商産業省及び運輸通信省の分割予定

5日、マシシ大統領は、投資・通商産業省及び運輸通信省を各々分割する予定について言及した。同大統領は、投資・通商産業省を投資・貿易と中小企業にそれぞれ焦点を当てる省に分割し、今年度会計で検討を開始し、2020年4月までに完了させる旨発言した。また、同大統領は運輸通信省から分割する通信省が大統領府の下に設置されることとなるだろうと述べた。(8日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ 新党 BPF の結成記念集会の開催

6日、新党ボツワナ愛国戦線(BPF)はカニエにおいて結成を記念する集会を開催し、ブタレ同党党首らが同集会に出席した。(8日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ 大統領の安全及びクーデターの可能性等に関するマホシ DIS 局長の発言

7日、マシシDIS局長は大統領の命が危険にさらされていることを認めた。同局長は、マシシ大統領の命が危険に晒されているのは事実であり、国内での政治の混乱により、安全保障に関する状況が変化し、権力の二極化(当館注: マシシ大統領とカーマ前大統領)が非国家組織の介入を招いた旨発言した。また、クーデターへの欲望は存在するが、国の脅威になり得るほどの状況にはまだ達しておらず、状況はDISのコントロール下にあり、関わりのある非国家組織に関する特徴を既に特定していると述べた。(6日:ウィークエンド・ポスト紙, 8日:デイリー・ニュース紙他)

#### ○ 野党BPFの選挙方針

BPFの主なターゲットは18選挙区が集中する中央地区であり、カーマ前大統領の支持基盤でもある。主要な目的は、BDPの票をBPFに向けさせることであり、この場合野党連合民主改革のためのアンブレラ(UDC)の票は、彼らの最大のライバルであるBDPほど割れることはないで、UDCが最大の勝者になるであろう。当初、カーマ前大統領は与党BDP内部の親カーマ派のマスター・ホヤ高等教育・研究・科学技術副大臣、マカレメレ青少年地位向上・スポーツ文化開発副大臣、ブティ・ビリー議員などを応援するとしていたが、同前大統領はBDPの候補者は支援しないことになった。BPFはこれら候補者の選挙区にも対抗馬を出すことにしている。(27日:ウィークエンド・ポスト紙)

#### ○ Kgori Capital 社, 国家石油基金を巡る疑惑に関する訴訟に勝訴

26日、控訴裁判所は Kgori Capital 社が国家石油基金(NPF)の管理を巡り、マネーロンダリング、公的基金の横領等の罪には当たらないとする判決を下した。同社は同様に訴追されているバンカン・セレツェ氏が所有していた会社である。同社は、控訴裁判所の判決は、有罪とする高等裁判

所の決定を覆すものであり、同社がNPFの管理において、いかなる民事、刑事犯罪に関与していないことを明確に示すものである旨発表した。(27日:ウィークエンド・ポスト)

#### ○ ボコUDC党首は選挙法に違反していないとの判決が下る

ボコ野党連合UDC党首が選挙法に違反し、主要な住居がない地区で有権者登録をしたことから選挙人名簿から除外するべきだとの訴えに対し、ハボロネ裁判所は同党首が選挙法に違反していないとの判決を下した。(29日:デイリー・ニュース紙, モニター紙)

#### 【外交】

#### ○ スイス大使のマシシ大統領への離任表敬

2日、アーティエダ・スイス大使はマシシ大統領に対して離任表敬を行った。マシシ大統領はスイスとの象徴的な関係を重視している旨発言し、スイス大使は外交パスポート、公用パスポートなどへの査証免除合意への署名について言及した。(4日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ マシシ大統領のルワンダ訪問

4日、マシシ大統領はルワンダを訪問し、カティ司法・国防大臣と共にジェノサイド解放25周年記念式典に出席した。(5日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ 中国とボツワナの対ボツワナ無償資金協力に係る合意文書への署名

4日、ボツワナ政府と中国政府は、対ボツワナ無償資金協力に係る二つの合意文書に署名した。これらは、合計3億4,000万プラ規模の経済・技術協力にかかる合意文書および、レホロ及びモパネ・ハボロネ間の道路プロジェクトF/S調査にかかる交換書簡であり、マタンボ財務経済開発大臣およびザオ中国大使が署名した。(8日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ ハリー英王子一家のボツワナ訪問予定

ハリー英王子一家は第一子の誕生から初めての海外のツアーの一環としてボツワナを訪問する予定である。セキュリティーの観点から到着日の詳細は明らかになっていない。同一家はアンゴラ、マラウィ及び南アも訪問する予定である。(12日:ボツワナ・ガーディアン紙)

#### ○ 竹田大使のTICAD7に係るインタビュー

8月28日から30日にかけて開催されるTICAD7を前に竹田大使はボツワナ・ガーディアン紙のインタビューに答え、TICADの概要、これまでのボツワナと日本の経済協力に関する取り組みについて述べた。(12日:ボツワナ・ガーディアン紙)

#### ○ ボツワナジャーナリストの中国でのセミナー参加

ボツワナのジャーナリスト15名が、7月18日から8月8日の日程で北京にて開催されている、ジャ

一ナリスト向けのセミナーに出席している。同セミナーは、中国政府が招聘、中国国際出版集団（CIPG）がホストしており、中国の経済、社会、開発政策、特にその成果と学びについて議論するプラットフォームを提供している。（22日：デイリー・ニュース紙）

#### ○ マシシ大統領のケニア訪問

22日～24日にかけて、マシシ大統領は国賓としてケニアを訪問した。同大統領にはダウ外務国際協力大臣、カティ司法国防大臣、モカイラ環境・天然資源保護・観光大臣らが同行した。マシシ大統領とケニヤッタ・ケニア大統領の首脳会談が行われた他、第5回「協力のためのボツワナ・ケニア合同常設委員会（JPCC）」が開催され、ボツワナとケニアの間で二重課税防止協定、二国間の航空サービス協定及びICT分野での協力に関する覚書に署名が行われた。（23日～26日：デイリー・ニュース紙）

#### ○ ザンビア・ボツワナ、鉄道建設について再びコミット

22日、ザンビア鉄道のルビンダ議長はカサネで開催された記者会見において、ボツワナとザンビアは既にカズングラ橋計画においてパートナーを組んでおり、地域の貿易を促進するためにモセツェからリロングウェをつなぐ鉄道を建設することは適当である旨発言した。一方で同議長は、鉄道建設計画が初期段階にあり、枠組みについては未だ交渉中であり、計画及び他のロジの費用を決定するF/S調査は完了していないと発言した。（25日：デイリー・ニュース紙）

#### ○ SADC議会フォーラムの新事務局長にボツワナ人が就任

22日、モザンビークのマプトで開催された第45回総会においてボツワナ人であるセコマ氏はナミビア・ウインドフックに事務所を構えるSADC議会フォーラムの新事務局長に指名された。同フォーラムは議会の諮問会議を設立するために設置され、最終的にはSADC地域の利害に関する問題について議論する地域議会の枠組みを設立することを目的としている。（26日：ボツワナ・ガーディアン紙）

#### ○ 近いうちにナミビア・ボツワナとの行き来にパスポートが不要に

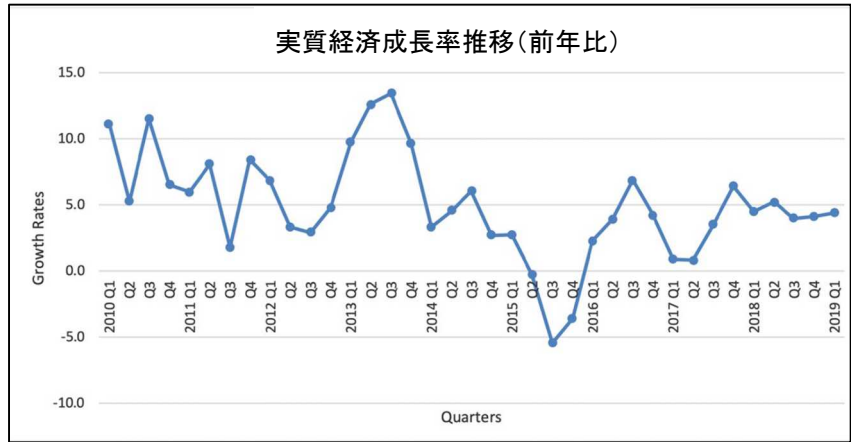
27日、第45回ハンチ農業ショーに出席したマシシ大統領は、近い将来、ナミビアとボツワナの両国民が各国に旅行する際にパスポートを必要とせず、身分証明書のみで行き来できるようになる旨発言した。同大統領によると、両国の政府職員によりじきに正式に合意する由。（29日：デイリー・ニュース紙）

【経済】

○ ボツワナの主要経済指標

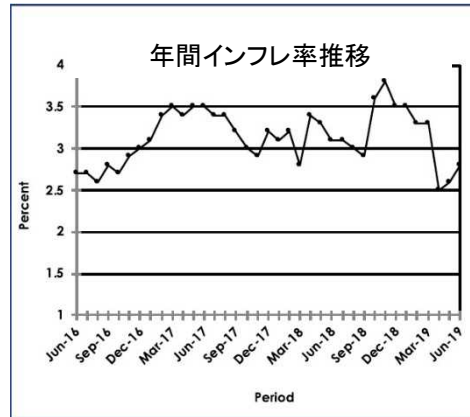
1) 経済成長率(出典:ボツワナ統計局)

2019年第1四半期の GDP は487億2890万プラとなり, 第4四半期(484億9160万プラ)と比べて0.4%増となった。(2018年GDP合計は1898億6850万プラ)



2) 年間インフレ率(出典:ボツワナ統計局)

2019年6月は2.8%(5月は2.6%)。



3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

2019年7月31日

1プラ=0.091米ドル

1プラ=1.280南ア・ランド

1プラ=9.97円

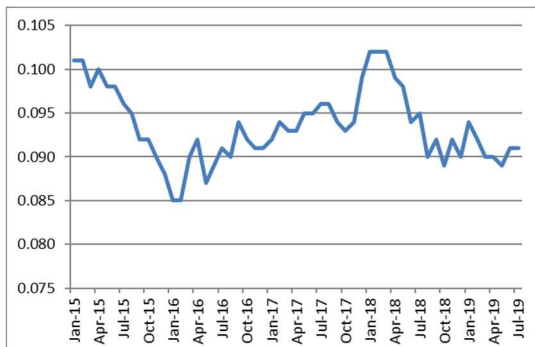
2019年6月28日

1プラ=0.092米ドル

1プラ=1.285南ア・ランド

1プラ=9.95円

[米ドル] 為替推移(1プラ=0米ドル)



[円] 為替推移(1プラ=0円)



## ○ ダイヤモンド産業

### 1) ボツワナ産ダイヤは紛争ダイヤモンドではない

ボツワナはキンバリープロセスの創始国メンバーの一員として、ボツワナ産ダイヤが紛争ダイヤではないという原産地証明を受けている。ボツワナにおけるダイヤモンド部門は、最大の民間部門で外貨獲得の約8割、政府収入の5割、GDPの3割を締め、鉱山では5,500名以上、研磨関係では約2,200名の雇用を生み出している。(6月29日:ウィークエンド・ポスト紙)

### 2) 2018年のデブスワナ社の経済への貢献は約180億プラ

デブスワナ社(当館注:デビアス社とボツワナ政府の合弁企業)の2018年におけるボツワナ経済への貢献は2014年以来最も生産量が高かった影響でGDP全体の7%である約184億プラとなった。デビアス社の株主であるアングロアメリカン社が発表した報告書によると、184億プラの内訳は法人税48億プラ、ロイヤリティー35億プラ、調達費用72億プラ、設備投資10億プラ、給与等9億プラとなっている。(5日:メヒ紙)

### 3) 上半期のデビアス社のダイヤモンド原石売上額減少

2019年上半期のデビアス社のダイヤモンド原石売上額は23億米ドルとなり、昨年同時期と比べ21%減少した。また、上期の収入合計も26億米ドルとなり、昨年同時期と比べ17%落ち込んだ。ローレイ・デビアス社副社長は、ダイヤモンド原石の売上減少には不安定なダイヤモンド市場、米国と中国による貿易戦争による販売の減少等の様々な要素が影響している旨発言した。(30日:デイリー・ニュース紙)

## ○ ボツワナ銀行、基本割引率・基準貸付利率を5.0%に維持

6月27日、ボツワナ銀行は、金融政策委員会を開催し、インフレ率が政府目標の3~6%内よりも低く、価格の安定性にかかる見通しがポジティブであることを受け、基本割引率・基準貸付利率(当館注:従来の公定歩合)を5.0%に維持する決定を公表した。(2日:デイリー・ニュース紙)

## ○ チョッピーズ元CEO、会社及びモハエ元大統領を提訴

職務停止となっているオッタパトゥ・チョッピーズ元CEOはチョッピーズ社及びモハエ同社役員(元大統領)を相手取り、同元CEOの職務停止及び役員会による緊急株式総会の開催の拒否を撤回するよう裁判所に提訴した。(3日:ボツワナ・ガゼット紙)

## ○ 国産牛乳の不足

ホヤ高等教育・研究・科学技術副大臣によると、年間の牛乳の国内需要は6500万リットルであるものの、ボツワナは国内で720万リットルの牛乳しか生産できていない。同副大臣は、世界的に乳製品生産企業が雇用と収入創出の主要な源であり、農家が酪農牛を飼育し、ボツワナが国際市場と競合できるような技術を使うことができれば問題は解決する旨発言した。(5日:デイリ

ー・ニュース紙)

○ **カタール航空, ハボロネへのフライトを開始へ**

カタール航空は2019年10月27日から週に3回ヨハネスブルグ経由でハボロネへのフライトを開始する。同フライトは日曜, 水曜, 金曜に就航される見込みで, 使用機には36席のビジネスクラスと247席のエコノミークラスが整備されている。(26日:ボツワナ・ガゼット紙)

○ **ボツワナ・コンシューマーフェアを8月26日から9月1日まで開催**

ボツワナ国内最大の見本市, 第14回ボツワナ・コンシューマーフェアが上記日程で, ハボロネ市内のフェアランドで開催される。去年の来場者数は約6万人。日本大使館, JICAからも出展予定。出展者募集中(詳しくは, 「Botswana Consumer Fair」(フェアランド, HP)で検索)。

○ **世界史上2番目に大きい1, 758カラットのダイヤモンドの名称決定**

ルカラ・ダイヤモンド社(カナダ)は, カロウエ鉱山で発見された世界史上2番目の大きさの1, 758カラットのダイヤモンドの名称を一般公募し, 22000の応募の中から, ツワナ語で, 希な発見を意味する「セウェロ」を名付けた(賞金は3万プラ)。(18日:ルカラ社報道発表)